

## 県民意見募集(パブリックコメント)の結果

【意見募集期間】 平成27年9月3日 ～ 平成27年10月2日

【意見件数】 1件

### 【ご意見等の内容】

地域貢献に関する目標

卒業者の県内就職率 60%を目指す と記載されていますが、とても曖昧で本当に地域医療に貢献する気があるのかと大きな疑念を感じる。

60%という数値も問題だが、一番の問題は ” 目指す ” ではなく ” 義務化する ” がいい。

一番の理由は岐阜県の「清流の国ぎふ」総合創生戦略 P25 ②地域医療の充実 ” 地域における医療を確保し、どの地域にあっても誰もが不安なく医療を受けられる体制を整備するため、医療人材の養成・確保を図る ” また上の方には ” 介護・福祉サービスを支える人材（看護職員等）の育成・確保を図る ”

この総合戦略は国の見解では、計画ではなく確実なる実行性が問われている。

そのため、総合戦略に記載されたことを確実に実行していく義務化が問われる。それなのに一方の案は計画という名の目標設定では整合性が合わない。

目標数値を減少させるか、言葉を変えるか。とにかく実行性のある目標値を設定するべし。

### 【ご意見に対する県の考え方】

貴重なご意見ありがとうございました。

県内就職率の向上については、現在も県立看護大学において努力しているところですが、中期目標において具体的に数値目標に掲げることにより、看護大学により一層の努力を求めめるものです。

なお、県内就職率 60%の目標数値については、他県の状況（看護系学科を有する公立大学の26年度平均59.5%）を踏まえ、県評価委員会に諮ったうえで、実現可能な目標として設定しています。

また、地方独立行政法人は、県から独立した法人として、自主性を尊重することが、地方独立行政法人法で規定されていることから、「目指す」という表現を採用していますので、ご理解をお願いします。

### 【本文修正】

なし